

◆TQM奨励賞 2020◆

(株)明電舎 プラント建設本部

受賞にあたって

株式会社明電舎は、1987年に創業し、「より豊かな未来をひらく」を企業使命、「お客様の安心と喜びのために」を提供価値とする理念のもと、社会と共に成長し、社会から必要とされる企業を目指し、新しい技術と価値の創造にチャレンジし続けています。プラント建設本部は、1945年に当社の工事部門として戦後復興への貢献を目的に業務を開始し、2015年に単独事業部となりました。屋内電灯工事から始まった業務は、今や当社が手がけるプラント製品の工事計画、設計、施工ばかりでなく機械、空調、建設設備まで幅広くエンジニアリングを行っています。現在当本部では、「奉仕の精神と何事にもチャレンジ」をモットーに、「気づき、スピード、レスポンス」を三大行動指針に掲げ、「お客様から信頼され、社会に貢献し安定した人材を国内外に供給できるエンジニアリング集団」を目指しています。

当本部は、経営計画の達成、総労働時間の削減、高年齢労働者と若年労働者の増加による労働災害の防止、慢性的な技術者不足を解消するために「TQM」の強化を図り、主に以下の活動に取り組みました。

- ① 中期経営計画の年度方針策定、展開、フォローアップによる経営目標の達成
- ② 全員参加の改善活動による、作業の省力化・生産性の向上
- ③ 安全意識の向上による安全最優先の徹底とDR管理による品質確保
- ④ 技術者育成によるプロフェッショナル集団の確立
- ⑤ ICT活用による生産性向上と働き方改革の実現

「TQM」を強化した結果、出荷高と営業利益が好転、総労働時間の減少、障害発生率の減少、技術者の確保、従業員満足度の向上が図られました。

今後も改善活動を継続し、変化し続ける環境に対応した柔軟性のある組織を構築します。また、購買力の強化、お客様満足度の向上、安全は何事にも最優先、DR活動継続による障害の未然防止、SDGsの中から社会的課題の解決、卒煙・分煙による健康経営についても「QCNプロジェクト」を中心に推し進めていきます。

所在地：東京都品川区

受賞理由

株式会社明電舎プラント建設本部は、明電舎の工事部門として、1945年から業務を開始し、2015年に本部として独立した。主な施工物件として、水処理設備、道路設備、受変電設備、電鉄設備、ダイナモ設備などがあり、プラント製品の工事計画、設計、施工だけでなく、機械、空調、建築設備までのエンジニアリングを行っている。2019年度の出荷高は217億円、社員は251名である。TQMの特徴は、①トップの積極的なリーダーシップ、②全員参加型の改善提案活動、③ICT活用による働き方の改善である。これらの活動の結果、出荷高と営業利益、総労働時間などに効果が出ており、高く評価できる。